

玉蔵院

まちを知る
まちを愛する

さいたま
景観
ストーリー

vol.10



本堂は、建立された当時は萱葺きの屋根だったが、明治の改築で瓦葺きになったとのこと。御本尊は金剛界大日如来坐像。



さいたま市指定有形文化財の山門は、総ケヤキ造り、本瓦葺き、四脚門で、享和3年(1803年)頃に建立されたと伝わる。



本堂の南側にあるのが地蔵堂。安置されている地蔵菩薩立像は平安時代後期の作と考えられ、地蔵菩薩像としては県内屈指の古例といわれる。

浦和の市街地の真ん中にある 平安時代開山と伝わる古刹

浦和駅の西口から歩いて8分ほど、旧浦和市の中心部とも言える埼玉県庁や埼玉会館などがあるエリアに玉蔵院があります。平安時代に弘法大師によって建立されたと伝わる真言宗の古刹。天正19年(1591年)には、徳川家康より寺領を寄進され、江戸時代には新義真言宗豊山派に属し、奈良長谷寺の移転寺として栄えたそうです。

元禄14年(1701年)に再建されたと伝わる本堂は、何度か改修されたもの

の、骨組みや間取り、欄間彫刻などは当時のまま。さいたま市指定有形文化財となっている地蔵堂は、総ケヤキ造り三間仏堂の様式で安永9年(1780年)に建立。室内には、埼玉県指定有形文化財の木造地蔵菩薩立像が安置されています。この仏像は、毎年4月23日のご開帳の時だけ拜することができます。

玉蔵院で行われる大施餓鬼は関東三大施餓鬼に数えられ、毎年8月23日に執り行われています。



玉蔵院

さいたま市浦和区仲町2-13-22
JR線浦和駅西口より徒歩8分
9:00~16:30

まちづくりのコレカラ
ホームページでも公開中!

「korekara WEBサイト」や「ブックシェルフ埼玉」でバックナンバーを確認できます。ぜひご覧ください!



korekara WEBサイト



ブックシェルフ埼玉

読者モニター募集中!

「korekara」では、皆さんの声を広報誌の誌面に反映させるため「読者モニター」を随時募集しています。ぜひご登録ください。

お申込み先

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
都市局都市計画部都市総務課 まで
TEL:048-829-1394 FAX:048-829-1979
Eメール:toshi-somu@city.saitama.lg.jp



表紙の写真について/北区にある市民の森は、広い芝生広場やす園などがあり、ファミリーに人気です。今回撮影に協力してくれた読者モニターのエリさんファミリーも、休日はお弁当を持って丸1日過ごすそうです。隣接した見晴公園には、風車もあります。